

○県営北方住宅の概要

- ・住所：岐阜県本巣郡北方町北方1857番地
- ・敷地面積：59,957.81㎡
- ・戸数：642戸（内特公賃5戸） / 557戸（7月時点の入居戸数）
- ・愛称：ハイタウン北方
- ・概要：昭和40年から45年にかけて建設された旧北方住宅の老朽化に伴う建替事業により、平成9年から22年にかけて全15棟を建設。
特徴として、南ブロックの基本設計に著名な建築家が携わっている点が挙げられ、大学から視察が来ることがある。



3 ハイタウン北方・南ブロックの概要

S-1棟
高橋晶子 設計

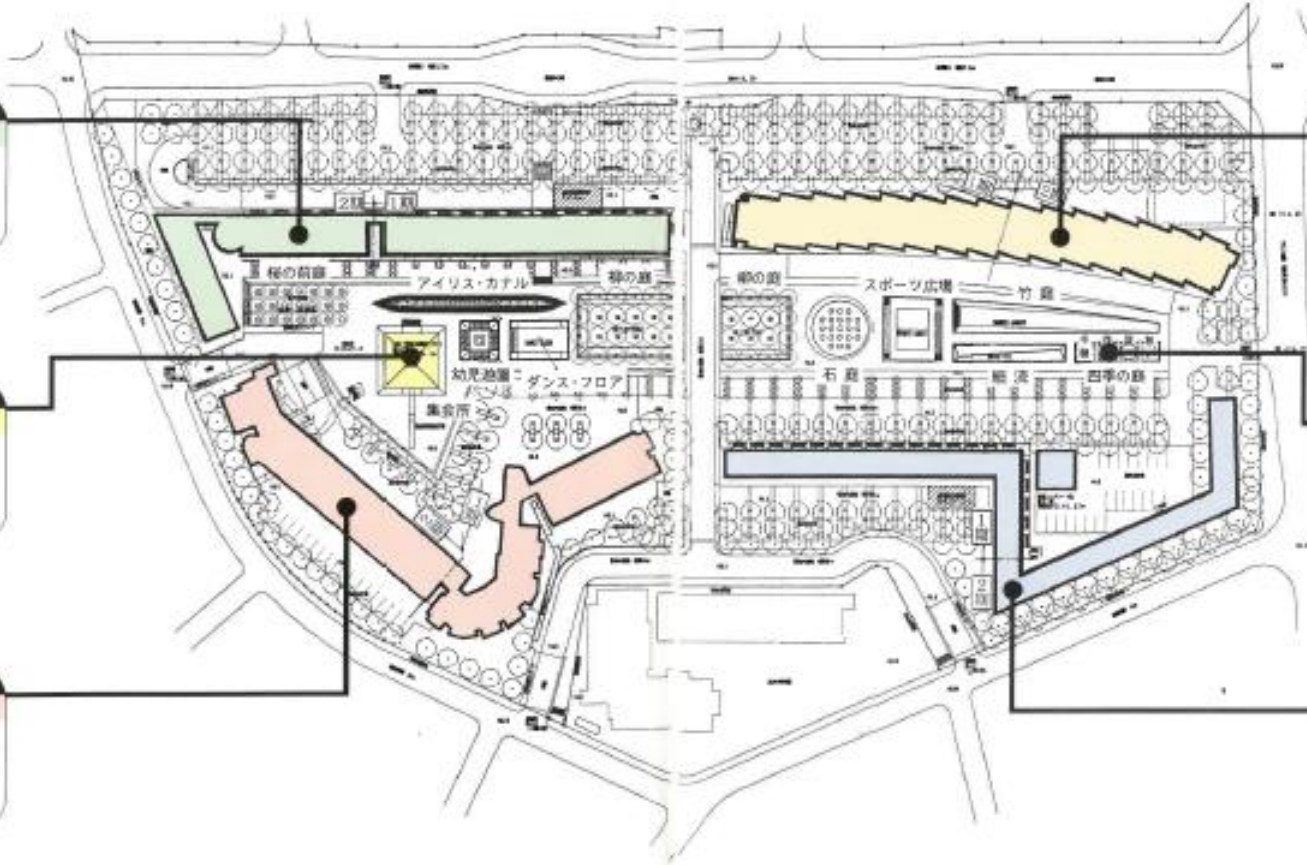
南面には室内の明るさと通風を考慮した大きな窓。北面には住戸からの明かりが微妙に廊下にもおちる透過性のある外壁。

集会所
福澤エミ 設計

精神の安らぎを得られる憩いの場の象徴として、又建物自体がある種の非日常空間、一つの詩的な造形物として存在。

S-2棟
クリスティン・ホーリィ 設計

中庭への様々な角度からの眺望を備え、中庭に架けられた橋のように、階段から各住戸へと至るアプローチ。



S-3棟
エリザベス・ディラー 設計

純然のように緩やかなカーブを描き、南北露を覆うパンチングメタルにより、「プライバシー」と採光をコントロール。

中庭
マーサ・シュワルツ 設計

太古の世界から糸貫川に侵食され続けてきたこの地の自然史をたどるよう、石や樹木、「room(ルーム)」と名付けられた空間により構成。

S-4棟
妹島和世 設計

共同住宅でありながらも、戸建のような暮らしを楽しめる空間<テラス>を全ての住戸に配慮。

■設計の基本コンセプト

- 21世紀に向けた居住様式を提案し、素材の使い方、建築技術においても他の先導的モデルとなりうる設計
- 岐阜は日本の東西文化の交差点であることから、その考え方を広げ、東西文化の調和なども考慮した斬新な建物
- 地域・住民と融合できるようなオープンな空間
- 地元の人にとってのステータス・シンボル、ランドマークのモニュメントにもなりうる団地

■南ブロック建設建物の概要

○各棟とも1Fビロティ部分は駐車場。又は駐輪場として利用

建設区分	構造 (※1)	延床面積(㎡)		戸数	
		合計	第1期 第2期	合計	第1期 第2期
S-1(高橋)棟	RC造9階+塔屋	8,934.70㎡	4,843.33㎡ 4,091.37㎡	109戸	56戸 53戸
S-2(Hawley)棟	RC造10階+塔屋	9,465.08㎡	4,885.40㎡ 4,579.68㎡	107戸	57戸 50戸
S-3(Diller)棟	RC造8階+塔屋	9,787.66㎡	5,179.10㎡ 4,608.56㎡	107戸	56戸 51戸
S-4(妹島)棟	RC造10階+塔屋	9,559.70㎡	4,809.36㎡ 4,753.36㎡	107戸	53戸 54戸
住棟+合計		37,747.14㎡	19,714.19㎡ 18,032.95㎡	430戸	222戸 208戸
集会所	木+S造平屋	141.75㎡			

※1 構造の種類：RC造……鉄筋コンクリート造、S造……鉄骨造 ※2 延べ床面積については、設計図書における数値を示す。

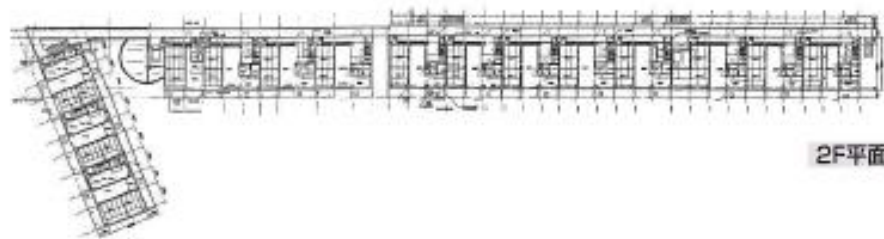


S-1 棟



住戸の特徴

壁ではなく、建具や可動式の家具により部屋が仕切られ、純日本風「田の字型」プランの良さを活かしたつくり



2F平面

住戸の概要

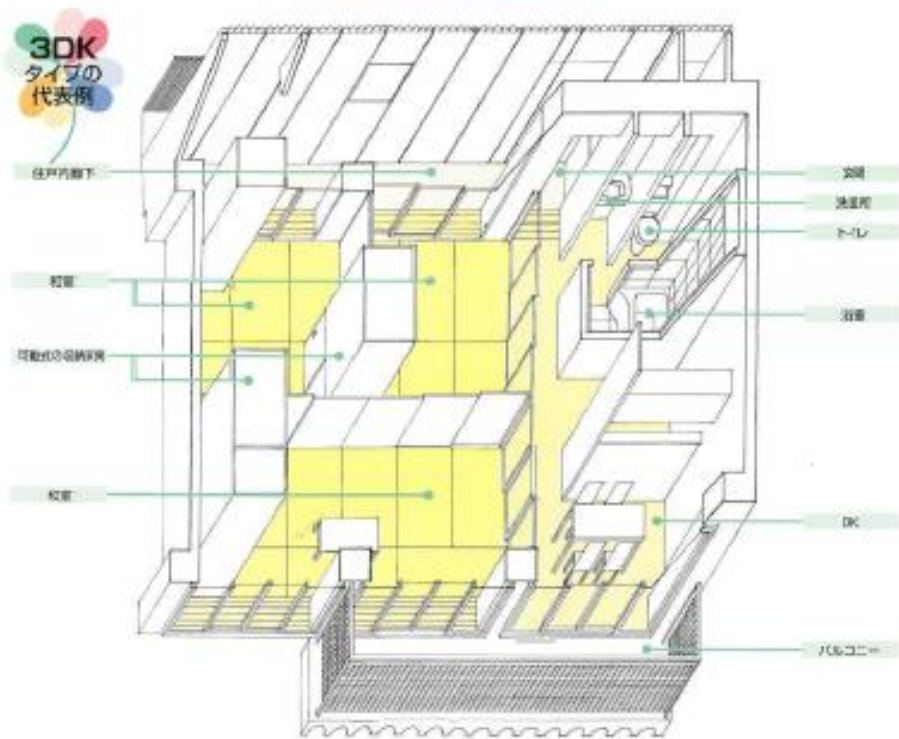
間取り	平均住戸面積	戸数	住戸形態		備考
			フラット	メゾネット	
2DK	62.16㎡	19戸	19戸	—戸	内4戸・身障者対応住戸
2DK+C	65.66㎡	24戸	24戸	—戸	
3DK	73.04㎡	61戸	40戸	21戸	内2戸・特公賃住宅※
4DK	80.96㎡	5戸	4戸	1戸	内1戸・特公賃住宅※
計	69.88㎡	109戸	87戸	22戸	

※特公賃公共賃貸住宅：公営住宅よりも高い所得階層の方々を対象とした住宅で、(以下各棟同じ) 住戸面積等の上限も高く設定されている。

2DK 70.47㎡
+バルコニー 8.53㎡



4DK 79.87㎡
+バルコニー 12.45㎡





身障者対応住戸

住戸の特徴

- ① 玄関部分のスロープ設置。
- ② 玄関、浴室、便所など各所における、補助手すりの設置。
- ③ 水まわり水栓器具のレバーハンドルタイプの採用。
- ④ 北方町、消防署との連携による緊急通報システムの設置。
- ⑤ 調理器具として、電気調理器（ラジエントヒーター）を採用。
（※尚、給湯設備には電気温水器を採用。）

